

Weekly Report

名古屋中ロータリークラブ

承認 / 1969年10月13日 例会日 / 月曜日 12:30
例会場 / 名古屋観光ホテル 会長 / 渡邊一平
事務局 / 中区錦1-19-30 名古屋観光ホテル内
TEL (052) 231-1687 FAX (052) 202-1703
URL: <http://www.nagoyanaka-rc.org>
E-mail: info@nagoyanaka-rc.org

世界理解月間

第1964回 例会

2012年2月13日 P.M.0:30～1:30 曇

●司会 (河村嘉希会場委員)

●出席報告 (川本浩史委員)

会員出席 134名中 99名 出席率 81.15%
前々回修正 出席率 95.87%

●ロータリーソング(石原寿生副委員長)

「友達になろう」

●会長挨拶 (渡邊一平会長)



皆さん、こんにちは。2月15日から確定申告が始まります。この時期になると新聞に、脱税事件の記事が載ります。「正直に申告しなさい」というアピールだと思えます。

税金に絡んで裁判となることもあり、その話を今日はしたいと思えます。先頃、オリンパスが損失を先送りするという事件がありました。これはM&Aの仲介手数料を異常に高くして、嘘を申告したわけです。上場会社ですから投資家をだましたという件で刑事事件になります。非上場ですとそこまではいかないのですが——。損失先送りではなく、利益の先送り商品というのたくさんあり、これは当クラブの税金をたくさん払っている方々が使っているかも知れません。

飛行機、特にヘリコプターの減価償却期間が非常に短くて5年と設定されています。ですから、ヘリコプターに投資してリースをすると、1～2年は損が出ます。購入金額が高いため、事業組合にして金融商品として売り出すわけです。野村證券がそういう商品を売り出したところ「これは事業ではなく金融商品のため配当である。減価償却は認めない」と裁判となりました。名古屋高裁の判断は「国税庁が強引であり、減価償却を認めよ」ということでした。似たような問題に映画フィルムがあります。減価償却はわずか2年で、映画フィルムを購入して、配給会社にリースするわけです。オリックスが行ったビジネスですが、この場合は減価償却が認められませんでした。

どこが違うかという、映画フィルムは完全な金融商品で、投資家のリスクがない。また、様々な権利を配給会社が持ち、形のみリースの仕組みを作っただけで、事業とは言えない、と見られてしまったようです。どうしてこういう問題が起きるかという、国税庁が認める減価償却期間が現実合っていないところに問題があります。事業家に投資意欲を起こさせるために、一種の優遇策であるわけですが——。くれぐれも難しい問題であるので、皆さんの確定申告は専門家に相談して、追徴金などを取られないようにして下さい。

●理事会報告 (川島悦雄幹事)

- ①新入会員2名の入会が承認されました。
- ②新入会員3名の入会受付が承認されました。
- ③松本一義君の出席規定適用免除が承認されました。
- ④第2回職場訪問について承認されました。
- ⑤春の小旅行について承認されました。

●幹事報告 (川島悦雄幹事)

本日は下半期会費の納入期限です。まだの方はお振込頂きますようお願いいたします。

●親睦活動委員会報告 (荒川雅義委員長)

2月27日(月)に河文にて第2回親睦例会を開催します。現在会員の方93名、ご家族20名、合計113名の方から参加のお申し込みを頂いています。ご家族の方で参加したいという方がいらっしゃったら、まだ受付をしていますのでよろしくお願い致します。

委任状伝達

地区より、以下の方々に2012～13年度の地区委員会の委任状が届き、渡邊会長より手渡されました。

加納 泉君	地区諮問委員会 委員
〃	米山奨学委員会 カウンセラー
神谷 裕之君	研修委員会 委員
山口 眞君	広報・雑誌委員会 副委員長
國友 昌大君	職業奉仕委員会 委員
川島 悦雄君	社会奉仕委員会 委員
大矢 裕慈君	環境保全委員会 委員
岡崎 亨君	識字率向上委員会 委員
荒川 雅義君	RYLA委員会 委員
岩月 雅章君	青少年交換委員会 委員
山田 典廣君	奨学基金・学友委員会 委員



委任状を渡されました皆さん

新入会員卓話

平松商店からオリエンタルビルへ わが社の歴史

会員 平松久明君



私が勤務するオリエンタルビル株式会社は不動産賃貸業を営んでいます。中区栄三丁目では三越やラシックに、また、名東区極楽ではヤマナカにビルや店舗をお貸ししています。レストランも経営し、ラシック8階や名東区極楽で営業しています。今日はせっかくの機会ですので、わが

社の始まり今に至る歩みをお話したいと思います。

当社は昭和27年9月に創業し、本年9月に60周年を迎えます。創業者は平松さわといい、当時では珍しい女性経営者で、私の曾祖母にあたります。さわは明治26年西春日井郡清洲町（現在の清須市）に生まれ、平松豊助と結婚しました。豊助の経営する平松豊助商店は三井物産の代理店として鶏の飼料を扱い、繁盛していたようです。大正2年に中国や朝鮮との取引が拡大し、ますます業績を伸ばしました。そうこうしている間に豊助は、商売より地位と名誉を、とでもいうように政治の世界へ転身します。県会議員として活躍するようになったのです。その結果、平松商店は妻のさわが切り盛りするようになりました。そして、昭和9年に豊助が死去、その後は41歳のさわが女手一つで取り仕切っていくようになっていきます。まず、飼料の輸入先を中国・朝鮮から満州にするなどして事業規模を拡大していきました。順風満帆に思えたのですが、軍の要請で大量に食料品を調達していたところ、軍に商品を引き渡す前に終戦、代金がもらえない事態に直面し、在庫を大量に抱えることになったのです。さわはこの苦境に対して、在庫のニシンやスルメなどを使って佃煮を作り始めました。また、鶏の卵の扱いもはじめ、大当たりをして、戦前とは比べものにならないくらいの利益を会社にもたらしたのです。

そして、さわが次に目を付けたのは、焼け野原になった名古屋を見てひらめいた「土地」です。会社の利益を使って栄の一等地を手に入れたのが昭和21年、現在の三越と中日ビルの間、バスターミナルがある辺りに約700坪を購入しました。さわはここに2階建ての洋館「ヤマトホテル」を建設しました。部屋数は40室程度と小さいホテルではあったのですが、当時唯一のホテルであった名古屋観光ホテルが米軍に接収されていた関係上非常に繁盛し、当時の首相にもご宿泊頂いたようです。また戦後初の総選挙で愛知県第1党となった進歩党、その後の民主党、自由党の本部もホテル内にありました。

しかし、100メートル道路の建設計画が浮上し、転機を迎えます。昭和22年、現在の三越がある場所へ移ることになりました。そして、周辺の土地を購入し、ビル建設へと向かっていきます。当初の計画では3階までが百貨店、4階から8階までが映画館、銀行、ホテル、オフィス、また屋上にはスポーツランドという全国でも初めての複合ビルだったようです。ところが建設省より大規模建築制限法が施行され、8階建てを3階建てに変更せよ、と命じられます。資材不足の折り、もったいないということでの命令だったようです。しかし、ただでは起きないさわは、増築を見越して8階建て用の基礎工事を行いました。そして、昭和27年9月7日、オリエンタルビル株式会社の設立登記も完了します。テナントは当社が直接募集するという専門店ビルをめざしたのですが、当時は家賃を払って商売をするという発想がなく、まったく集まりませんでした。そして、1社一括賃貸に方針転換をしたところ、中村呉服店が手を挙げました。繁華街に進出していた伊藤呉服店（現在の松坂屋）、十一屋呉服店（現在の丸栄）に比べて出後れていた中村呉服店との思惑が一致し、全国で初めて家賃を払う百貨店としてスタートを切ったのです。

昭和29年2月8日に正式調印を行い、当社も百貨店の経営に参加することになり、中村呉服店が当社の名前を組み入れた「オリエンタル中村」と社名変更をしました。ちなみに、なぜ社名がオリエンタルなのか、とよく聞かれるのですが、これからはカタカナがかっこいい、オリエンタルと付けてつぶれた会社はない、ということで名付けられたようで、深い意味はなさそうです。開店は昭和29年5月で当初から大賑わいで、3階建ての店舗に4日間で26万人もの人々が押し寄せました。オープンとほぼ同時の6月にテレビ塔が完成し、同年8月には地下鉄工事が始まり、戦後の復興に拍車がかかっていた時期でした。

その後、世の中が神武景気で沸き立つ昭和31年10月、最高のタイミングで7階建てに増築しています。翌年には名古屋・栄町間の地下鉄がついに完成し、来店客数の増加を大いに後押ししてくれました。これ以降、順次土地を広げ、隣地600坪に8階建てのビルを建設し、昭和37年10月に完成します。これによって床面積が1万4,000坪となり、久屋大通と接することになりました。平松さわは、さらに広小路通と久屋大通に接する北側角地の取得をめざしました。しかし、地価が急上昇しており、最終的には402坪の内116坪を当社、74坪が百貨店、残り212坪を3名の所有者が購入するというカタチになりました。この土地に地上8階、地下2階の共同ビルを建て、昭和44年9月に大々的にオープン。この結果、昭和29年に売り場面積4,000坪でスタートした百貨店は1万9,000坪となる大百貨店へと成長しました。

しかし、創業以来隆盛を誇っていたオリエンタル中村だったのですが、昭和50年から変調をきたし、業務提携先の三越と資本提携を行ったのが昭和52年のこと、そしてついに昭和55年10月1日をもって名古屋三越百貨店となりました。これで松坂屋、丸栄、名鉄百貨店とともに4Mと呼ばれるようになったのです。近年の低価格競争もあり、現在百貨店は冬の時代と言われているますが、今度は三越が変調をきたし、伊勢丹と経営統合するという時代を迎えています。平成20年に三越伊勢丹ホールディングス、平成23年に完全に経営統合し三越伊勢丹となっています。現在は伊勢丹により三越への経営指導中ということになっています。松坂屋も大丸に吸収され、丸栄の経営も親会社の意向が強くなったと聞いています。当社としては百貨店がなくなったりすることのないように、テナントである三越と一心同体で頑張っていくとともに、不動産を通して地域の発展にも貢献したいと考えています。

趣味の会活動報告

●マリクラブ

会員 堀江陽平君



23名でスタートしたマリクラブですが、私は現在残っているチャーターメンバー5人うちの1人です。現在はメンバーは40数名ですが、常連の方は20名ほどでしょうか。ヨット、スキューバダイビング、釣りなどを楽しむというのが本来の活動内容だったと思うのですが、次第に海の近くで遊ぼう!という活動に変わってきました。海の近くのホテルに泊まり、海風に吹かれながら美味しいものを食べたり、海辺のゴルフ場でプレイをしたり、というのがこここのところのメインです。

先日昔のアニヴァーサリーレポートを見ていましたら、1992年にマリクラブの事業報告がこのように書かれていました。「水に近づかない、安全なマリクラブの活動と実践」(笑)。この会の趣旨がこのあたりから変わっていったようです。純粋なマリスポーツを楽しむのではなく、海の側でグルメ、ゴルフ、泊まる、という例会を開催しています。例会には釣り竿ではなくゴルフクラブを抱えて参加しています。

発足当時からのご事業をご紹介しますと、毎年アクティブに活動していたようです。海外での活動も盛んで、グアム、サイパン、濟州島、ウラジオストックなどに遠征していました。なぜか海のないチェンマイというのもありました。家族同伴の活動も盛んで、みんなで伊勢志摩に出かけて親睦も図っています。勉強会と称して海上自衛隊の方や水族館館長をお招きし、お話を伺う機会なども設けていました。

1泊2日の例会では、ロータリーの仲間と飲みながら語り合う、という素晴らしい場が持てるマリクラブは、世代交流も出来ると共に、中RCの若さと品格が実感出来ます。水に近づかず、危なくないマリクラブに共感を覚えられた方、是非入会をお勧めします。

●例会臨時変更●

メークアップ受付可(受付時間 11:30~12:30)
★印の夜間受付時間は会場ホテルにてご確認ください。

- 3/21(水) 名古屋守山RC 名古屋マリオットアソシアホテル
- 3/22(木) 名古屋瑞穂RC ヒルトン名古屋
- 3/27(水) 名古屋城北RC 名古屋栄東急イン

●ビジター受付なし●

- 3/27(水) 名古屋千種RC

●休会のお知らせ●

- 3/19(月) 名古屋東RC サイン受付なし
- 3/19(月) 名古屋栄RC サイン受付なし
- 3/19(月) 名古屋昭和RC サイン受付なし
- 3/21(水) 名古屋和合RC サイン受付なし
- 3/21(水) 名古屋名駅RC サイン受付なし

—例会ご案内—

●次回例会 2月27日(月) 例会変更

第2回親睦例会 於：河文
PM5:00～ 受付(アペリティフ)
PM6:00～6:15 例会
PM6:15～9:00 親睦例会

● 世代間交流対話例会報告 ●

テーマ：私のマイブーム

● テーブル① 出席メンバー

渡邊 一平君 吉田 敬岳君 足立 雄一君
山田 典廣君 深田 正雄君 長谷川雅晴君
東 俊輝君 平山 雅也君

● 対話内容

- 10年前から始めたバイオリンのアクセサリ集め。 平山 雅也君
- 失敗、成功を繰り返しながら続けている野菜作り。 渡邊 一平君
- 雪の中でも1人でどんどん山奥に入っていく、パワーあふれた釣り。 深田 正雄君
- 家族旅行。 山田 典廣君
- 日本と中国の課題を考えること。最近では経済問題について中国が直面する課題について憂慮している。 東 俊輝君
- 70歳を迎えて、ますます熱が入っているゴルフ。めざすはシニアチャンピオン。また、ロータリーの会員増強についても目が離せない。 足立 雄一君
- 6月～12月までの半年間はハゼ釣り。6月はかき揚げ、12月は刺身がおいしい。多い時は夫婦で20匹を釣り上げ、お刺身にしていただく。 長谷川雅晴君
- 宋の時代のものを始めとする「すずり」や墨の収集。紙も筆も最高のものを求め、収集している。 吉田 敬岳君



● テーブル② 出席メンバー

小笠原 暁君 坪井 進悟君 吉田 治伸君
加納 泉君 松本 一義君 松下 和義君
占部 憲一君 早瀬 孝文君

● 対話内容

- 全国大会にも出場したカーリング。年をとっても出来るスポーツ。 小笠原 暁君
- ダイエット、ストレッチ、筋トレ。 吉田 治伸君
- 人に嫌われないで自分も満足するように、老後をいかに端麗に生活するかを考えること。 加納 泉君
- 歌とギター。ポイストレーニングを実施中で、目標は作詞・作曲を行い、CDをつくること。また、3・4年前から続く貧血、めまいを治すこと。 早瀬 孝文君
- 長続きしているのはスキー。この1・2年はカラオ

ケが楽しく、時間がすぐ経ってしまう。また、小1・小5の孫の相手も楽しい。 松本 一義君

- ゴルフと仕事がマイブーム。ピルの再開発が忙しい。5店舗ある喫茶店に飾るリトグラフ集めも楽しい。 松下 和義君
- 健康がマイブーム。朝6時10分に出社して、鶴舞から大須を45分間ウォーキングすると、頭がさえる。 坪井 進悟君
- 囲碁クラブに2年前に入ったので、囲碁の会にも力を入れたい。ローガンズも楽しい。 占部 憲一君

● テーブル③ 出席メンバー

一柳 鐸君 南館 欣也君 野口 昌良君
片山 敬勝君 堀江 陽平君 江崎 正則君
飯田 鳴登君 星野 信利君 長井 芳郎君
永野 光容君 服部 浩明君 相羽 康人君
王 偉君

● 対話内容

- 数年前から始めた禁煙。体調は良いが、時々我慢出来ずに吸ってしまう。 服部 浩明君
- 運動が好きで、ストレッチやプール通いを実施(腰が悪いので、プールでは歩行が主体)。旅行が好きで、1月にボルネオに行ってきた。 南館 欣也君
- 学生時代に励んだゴルフを再開。子供が釣り好きなので同行するものの、いまだに好きになれない。 相羽 康人君
- 江崎先生の勧めもあり手術したことをきっかけに、タバコをやめた。今後も健康に留意したい。 一柳 鐸君
- 料理に興味があり、食材を買いに行くが、ついつい高いものを買ってしまう。また、昔の出来事をエッセイとしてまとめたいと思っている。 堀江 陽平君
- 魚屋だけに、魚釣りが趣味で、仕掛けも自分でつくる。 飯田 鳴登君
- 1年前に新しいトランペットを購入したが、ほとんど手つかず。今年はそれをモノにしたい。 長井 芳郎君
- 趣味は旅行、ゴルフ、囲碁の3つ。国内外を問わず、1年に何度か旅をするが、インターネットやテレビで得た知識をジャンル毎に分けてノートに記録している。 片山 敬勝君
- 病氣以降、体力強化の必要性を痛感し、ゴルフは週に1回程度、練習にはしばしば通っている。また、外国の映画やドラマを録画し、英語の勉強をしている。 江崎 正則君
- 去年から健康のために歩いている。飲酒も、健康を考えワイン中心だが、いまだ値段と味の関係がよく分からない。 王 偉君
- 読書が好き。最近感じるのは、直木賞の作品は完成度の高さが伝わってくるが、芥川賞の作品は意味不明でよく分からないものが増えた。 野口 昌良君